



MeetingTime のインストール

この付録では、MeetingTime を組織全体にインストールし、展開するための戦略について説明します。

次の項を参照してください。

- [MeetingTime について \(P.A-1\)](#)
- [MeetingTime のシステム要件 \(P.A-2\)](#)
- [MeetingTime のインストール \(P.A-2\)](#)
- [MeetingTime の設定の編集と保存 \(P.A-3\)](#)

MeetingTime について

MeetingTime は、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムにアクセスし、設定するためのデスクトップ アプリケーションで、エンド ユーザ、連絡先、出席者、システム管理者を含むすべての種類のユーザを対象としています。システム管理者は、システムの管理および保守を行うために、MeetingTime のコピーが必要です。

さらに、ヘルプ デスクの担当者、部門管理者、有資格エンド ユーザなど、他のユーザのために MeetingTime を展開することもできます。

MeetingTime ソフトウェアは、デスクトップ コンピュータ上で実行します。TCP/IP（業界標準のネットワークング プロトコル）を使用し、LAN または WAN 経由で Cisco Unified MeetingPlace と通信します。直感的なグラフィカル ユーザ インターフェイスを使用し、電話機では利用できない高度な機能にアクセスできます。

Cisco Unified MeetingPlace システムには、5 つの MeetingTime ライセンスが含まれています。システム管理者は、MeetingTime を使用して、この章の後で説明するシステムの設定、レポートの実行、キャパシティの監視、日常的なシステム管理機能の実行を行います。

また、ヘルプ デスク部門は、MeetingTime を使用して、エンド ユーザの問題の処理、会議の監視、セッション中の機能の制御ができます。システム管理者による MeetingTime の使用の詳細については、[P.2-2 の「システム管理者の責任範囲」](#)を参照してください。

MeetingTime のシステム要件

MeetingTime は、適切に設定された Windows コンピュータで実行する必要があります。MeetingTime を実行するための最低限のハードウェアおよびソフトウェア要件の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html にある『Cisco Unified MeetingPlace システム要件』を参照してください。

MeetingTime のインストール



ヒント

複数のデスクトップに簡単に MeetingTime をインストールするには、インストール CD の内容を共有ネットワーク フォルダにコピーし、この場所から MeetingTime setup.exe ファイルを実行します。

MeetingTime をインストールする


-
- ステップ 1** Windows を起動し（まだ実行していない場合）、実行中のすべてのアプリケーションを閉じます。
- ウイルス チェック ソフトウェアをオフにします。
- ステップ 2** MeetingTime の CD を CD/DVD ドライブに挿入します。
- ステップ 3** MeetingTime の Welcome 画面が表示されたら、**Next** をクリックし、インストーラ画面の指示に従います。
- MeetingTime をインストールするには、MeetingTime ライセンス契約に同意する必要があります。
- ステップ 4** QuickTour（主要なエンドユーザ機能を紹介する短いアニメーション）を表示するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、いずれかを選択します。
- ステップ 5** MeetingTime が正常に読み込まれたことを確認するには、自分のユーザ ID、ユーザ パスワード、および Cisco Unified MeetingPlace のホスト名を使用して MeetingTime にログインします。
-

MeetingTime の設定の編集と保存

MeetingTime 設定を編集および保存する

- ステップ 1** MeetingTime を起動します。
- ステップ 2** **Options** メニュー > **Edit Settings** を選択します。
- ステップ 3** MeetingTime の **Settings** ダイアログボックスでオプションを選択します。

表 A-1 MeetingTime のインストール オプション

オプション	説明
Remember login information	<p>MeetingTime を使用するには、ユーザ ID、パスワード、Cisco Unified MeetingPlace のホスト名など、ログイン情報を入力する必要があります。生産性を高めるために、ユーザは必要なログイン情報のすべてまたは一部を保存できます。</p> <p>有効なユーザ ID、パスワード、およびホスト名をシステムに保存すると、MeetingTime を起動したときに、待合室でこれらの情報が設定されます。</p> <p> 注意 セキュリティ上の理由により、Settings ダイアログにはユーザ ID とホスト名だけを保存してください。ユーザはパスワードを入力するだけでログインできるようになります。</p>
Show public meetings	<p>ユーザは、自分の会議をすべてのユーザに対して表示するかどうかを選択できます。表示するには、Schedule タブを選択し、Display meeting to everyone で Yes を選択します。</p> <p>またエンド ユーザは、公開会議を登録情報およびホワイトボードに表示するよう MeetingTime の Settings 画面から選択することもできます。</p>
Demonstration mode	<p>トレーニングまたはデモンストレーションの目的で、Demonstration Mode を選択して MeetingTime を表示できます。</p> <p>このオプションを選択すると、次に MeetingTime を起動したときにサンプルデータと疑似接続が使用されるというメッセージが表示されます。続行するかキャンセルするかを選択します。</p>
Minutes for report results	<p>Report タブからレポートを生成するときに、特定の日付範囲でサーバに照会できます。Cisco Unified MeetingPlace システムのサイズによっては、レポートが生成されるまで数分かかることがあります。</p> <p>サーバから結果が返る前にシステムがタイムアウトにならないように、結果を待つ時間を分で指定できます。</p>

- ステップ 4** 設定を適用するには、**Save** をクリックします。
- ステップ 5** MeetingTime を終了し、再起動します。

